

文芸

俳句

永らへて野くれ山くれ忍冬すいどう

伊藤 敬子

燕の巣立ちて来季の人居待ち

今関満喜子

梅雨に入り少し濃い目の紅をさす

魚地 照子

床下に眠り続ける梅酒かな

加瀬 俊昭

豆腐屋の笛の音止めて夏の夕

川島 通則

兵曹長九十五歳や夏帽子

向後 寛

ひまわりや朝練の児の颯爽と

越川せつ子

クールビズ腹まで届く風の道

小松 藤男

遠花火竹馬の友は認知症

佐瀬 輝夫

向日葵の身じろぎもせぬ真昼かな

鈴木とし子

送り梅雨一日川面をたたきけり

土屋美枝子

ひまわりや核廃絶を祈る街

土屋 義昭

夏帽子振りし時あり遠き日よ

戸村 静華

病む友へ向日葵畑スマホより

西崎さち子

大夕焼散歩の足のとまりけり

早川 勇

子燕かまに感ける駅の日々親し

藤田 雅夫

夕暮の青田に居りし白鷺の

二羽は番か同時に立ちぬ

鈴木まさ子

風を受け横に傾かたゆく百合の花

風のまにまに立ち直りたり

押尾 輝子

青空にピーヒョー・ピーヒョー鳴きながら

鳶は輪島の港を回る

水須 俊

飛行機の窓に見えたる月影は

赤紫なりカナダに近く

浅野 榮子

真夜中も鳴き声をあぐ時鳥ほととぎす

安らぐ事の許ゆるされざるか

田崎 尚美

語らなき夫と見てゐる花園の

夢より覚めて遺影を見上ぐ

芹川 初子

湿りもつ空気に混じる花の香に

くちなしの咲く季ときに気づきぬ

西山満里子

日吉神社ひよの社につづく杉並木

四百年の幹に手触れり

加瀬 弘子

栗山川の土手を埋めて咲き盛る

紫陽花あじさいの花の七色の美し

斉藤つね子

短歌

一面にひまわり畠の觀光地

呼び交う子等の姿見えねど

内藤 くに

柚子の花咲きて雨ふる梅雨空に

空切り裂きて燕とびかう

越川 義則

庭隅の草は伸びるにまかせおく

秋を奏でる虫のすみかに

高梨 キヨ

夕空に大きな虹の架かりたり

海より立ちて広がりいしか

椎名美枝子

作品展

◎町民会館ミニギャラリー

8月 アート押し花クラブ

9月 涼風生け花クラブ

◎文化会館ロビー展

8月 水墨画クラブ

9月 展示なし

◎銚子商工信用組合展

8月 展示なし

9月 水墨画クラブ



●町民ギャラリー●

◎企画展

鬼来迎 小関与四郎の記録

毎年8月16日、虫生広済寺で鬼来迎保存会による、全国でも非常に珍しい古典的仏教劇「鬼来迎」が上演されています。その鬼来迎を匝瑳市出身の写真家・小関与四郎氏が、半世紀も前から写真に収め、記録に残してきました。

小関氏は10代の頃からカメラを手に、この地域の人々の生き生きとした生活や厳しい自然の風景、消え変わりゆく風土を写真に収めてきました。その長年の功績は、国内外の写真家から称えられています。

半世紀前の、今はもう見ることで
きない鬼来迎の縁起三段分や地藏堂の
写真を、ぜひご覧ください。

と き 9月17日(日)まで

午前9時30分～午後5時30分

ところ 図書館2階町民ギャラリー

問 社会文化課生涯学習班

☎84-1358



▲地藏堂の前での大序